

## ＝新年(2015 年)を迎え ～未来に残すべきものを探して～ ＝

新年、明けましておめでとうございます。この日を、皆さまは、どこで、いかがお過ごしでしょうか？

私は、29、30 日と、昨年同様、我が夫婦双方の両親と叔母夫婦の 3 世帯に加えて、叔母夫婦の娘世帯の総勢 14 名で、石川県の山代温泉にて早めのお祝いをしました。

昨年は、年寄りが目立つ集まりでしたが、今回は、子供が 2 名増え、未来を感じさせる集まりとなりました。この集まりが来年も続くように、今年も張りたいたいものです。

### <2014 年を振り返る>

私の政策担当者、経営管理者としての経験と知見を活かし、個々の事業、地域のサービス・経営の具体的な改善支援や、国の政策展開への提言等を目的として、研究所活動を始めたのは 2010 年。早いもので 5 年が過ぎました。

研究所当初からの信念が変わることはありませんが、この間、数多くの人や事業、地域を知ること、自分なりの考え・アプローチも変わってきたと感じます。

昨年は、「足下から一つひとつを積み上げて」をテーマにしましたが、こうした自分の変化と建てた目標のギャップもあり、達成度で言えば 60%程度で終わったと思います。

こうした変化を自分なりに分析し、自分なりの目標を再度明確にすることで、今年を、新たなスターの年にしたいと思います。その思いを、HP の「ご挨拶」として記載しましたので、ぜひ、ご覧下さい。

### 1 仕事は中だるみの感あり 新しい取り組みを

昨年の仕事は、継続してお付き合いをしてきた相手ばかりのせいもあり、相手側の都合等により接触の機会が少なくなったり、同じ案件が繰り返されたり、改善等を待つものの回答が出なかったり・・・と、中だるみの感が強い 1 年でした。

仕事の負担が少ないのは、昨年の首の状況から言えば、良かった面もあるのですが、こうした状態に慣れてしまうと、自分自身の成長を阻害するとの危機感もあります。その意味では、一度、過去 5 年間の研究所業務を総括して、新たな段階に進むことが必要であると、気づかせられる 1 年であったと言えるかもしれません。

こうした確認作業の結果、今の自分が大事にしているのは、「未来に残すべきもの」と「早く淘汰すべきもの」とを峻別する点と再認識しました。その区分の判断ポイントは、サービスの質・経営者の質の 2 点です。

サービスの質の悪いものは、どのような産業でも淘汰されるべきであり、また、経営者の質の悪いものは、50 歳も過ぎると個人として付き合いが無意味と感じられるということです。こうした基準で、まずは、今の仕事(取引先)を検証し、「未来に残すべき」と判断できるものと、関係を継続するつもりです。

一方、私の知らない「未来に残すべきもの」の「種」は、世の中に数多くあるのかもしれませんが、焦らずに、じっくりと探したいと思います。皆さんも、面白そうな話があれば、教えてください。

また、もう一つの仕事である HP 上の活動も中だるみ感が出ました。

1 年間で、通信 20 本、コラム 68 本と、概ね当初の目標数は達成しました。

特に、両親との関わりについては、私と同世代の方から反響があります。最近、親を亡くした方、親との関係が薄い方など、私と両親の関係を見て、ご自分に投影しているような・・・面白い言葉が聴けます。こうした反響を予測してのものではありませんでしたが、もし、今でも公務員の立場であったなら・・・と考えると、この数年で、親とは結構良い関係を築けているのかもしれない。これが、彼らの終末期にどう繋がって行くのかは、これからの課題ですが・・・

しかし、政策提言に関わるレポートについては、成果は出せませんでした。

12 月初の入院中に振り返ってみましたが、一つには、経年データ等は変わっていますが、その基本的な状況は過去のレポートに記載したことと変わりはないこと、もう一つは、この 5 年間、数多くの人や事業、地域を知ること、自分なりの考え・アプローチも変わってきたことが背景にあると思います。

こうした変化を、どのように HP のレポートに反映するかは、未だ結論は出ていませんが、この 1 年、試行錯誤をしてみよう、答えを出したいと思っています。

## 2 地方状況を知るとの基礎づくりは進展

先月のコラムでも書いたように、昨年、1年間で47都道府県に赴くことができました。

一昨年は、月2回の東京と福井の往復のついでに遠回りをしたり、週末の空き時間に遠出をしたりして、農山村地域の状況できるだけ見るようにしましたが、昨年は、極力、早めに行先を決め、計画を立てて実行するようにしました。

目標の地は山間地域又は半島地域の、いわゆる田舎です。したがって、公共交通機関は利用が事実上できませんので、一昨年の交通事故の後遺症はあるものの、基本的には車両での移動とならざるを得ません。夏場は自転車利用、遠隔地その他はレンタカー利用となりましたが、あわせて概ね5万kmの移動距離に達しましたが、お陰様で、無事故・無違反を継続しているところです。

また、不便な地域にあることから宿泊も増えます。一昨年の5割増の80日近い宿泊数となりましたが、今どき、こんな宿があるの・・と思うこともありましたが、全国の温泉に入り、首の養生を含めて、落ち着いた時間をとれたように感じます。

その結果、足を踏み入れた市区町村(政令市等の区を含む)数は、一昨年末から倍増~17百か所を超えました。

北海道及び離島以外は、全て行ったことになります。もちろん、これだけで全地域を知ったとは言えませんが、地図や統計だけではわからない実際の時間距離、生活環境などの知見・感覚を蓄積することができました。

余談ですが、一昨年から始めたスマホを使った遊び(全国を38万枚の格子で区分して、行った地域の格子の枚数をランキング)は、一昨年末から3万枚増え、53千枚を超えて、全国1位で新年を迎えました。

遊びとは言え、全国1位は、嬉しいものです。ただ、この蓄積を今後の仕事にどう活かすか・・今年から再スタートを切る研究所のテーマですが、医療・介護の地域再編のアイデアに繋がればと今は思っています。

## 3 交通事故の清算は進まず

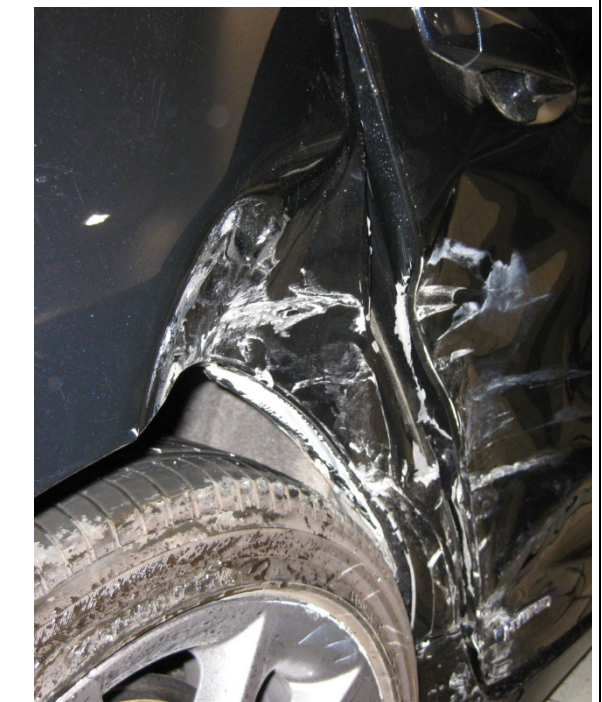
一昨年の3月末に被害にあった交通事故の清算が目標の一つでしたが、前回の通信で記したように、可動域が狭くなった首、違和感を覚える手の問題解決には明るさも見えました。12月の入院治療は持続性が担保されるものではありませんが、それでも今のところは、明らかに制限された生活からは解放されています。

今年、いずれかの段階で、また、痛みの強い治療を受けることになるのでしょうか、今は、体の不調を感じないことを、まずは喜ぶことに。

一方、昨年前半に、裁判は始まったものの、被告側は時速10km以下の低速で衝突した・・理由は子供の歩く場所だから・・等と示談交渉時から続く、現実の事故の大きさ(写真)とは乖離した根拠の乏しい主張を繰り返し、また、私や長女の感情をあえて害するような書面を出し続けています。

今のところ先が見えない・・というのが正直なところでしょうが、長女には、「あのような人間になるなという反面教師だ」と言って、自分自身の心を落ち着けてはいるものの、感情的にならないようにするのも、そろそろ限界かもしれません。

それにしても、前回の通信のように損害保険会社の発想さえ変われば、こんなに無駄な時間を費やす必要はないと思いますが、誰も考えないのが不思議でなりません。結局は、役所の仕事になるのでしょうか・・そうならないようにするには、胸腔出口症候群の一人として、今年、裁判で頑張るしかありません。



#### 4 家族との関係は安定も

家族との間は、地方状況確認のための80日近い宿泊もあり、適度に近く、適度に遠い距離感を保つことができ、概ね良好だったと思います。

外国に行くはずの長女が、急に日本で就職したりするハプニングもありましたが、仕事の成果も順調とのこと…いずれ外国には行くようですが、それに向けて、よい経験になるかもしれません。次女も、昨年状態が悪くなった秋を乗り切り進級もできそうですし、長男も、体だけでなく、心も少しずつは大人になっているような感じがします。

両親や姉との福井での関係も、今のところは安定しており、何かあれば、私に情報が入る仕組みも確立しており、当面は大丈夫そうです。ただ、両親の病状が悪くなれば、こうした状況も一変します。

いずれ、そうなることは覚悟しつつ、今を生きるしかない…というのが1年を終えた感想です。

#### <今年は「未来に残すべきものを探して」をテーマに>

HP上で更新した挨拶にも記したように、研究所が6年目を迎える今年は、新たな段階に入りたいと考えています。どれほど、できるかはやってみなければわかりませんが、これにチャレンジすべく、今年から新たなスタートを切るつもりです。

##### 1 今年のチャレンジは？

今年は、東京・福井以外の地域で、継続的な支援関係を、新たに一つ創りたいと考えています。

これは今年で3年目に入る地方状況確認の一つの出口でもありますし、少々、精神医療・障害福祉に偏り過ぎた自分のフィールドを修正する意味もあります。

普通の地域医療・福祉・普通の地域づくりを、もう一度、一からやってみたいという思いです。やはり、精神・障害の領域だけでは、自分の視野が狭くなること、成長が止まることは避けられないとの実感もあります。

また、これまでにない業種・分野の企業・法人との関係構築も模索したいと考えています。

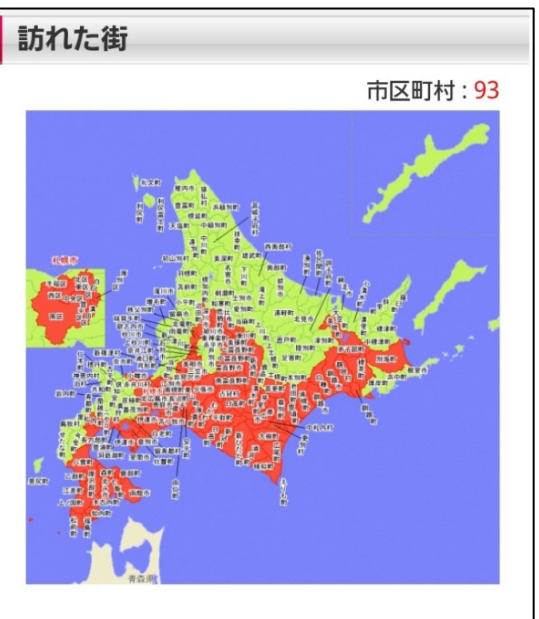
医療や福祉は、様々なステイクホルダー（利害関係者）で構成されていますが、医療や福祉を効果的で効率的なシステムにしていくには、これら多様な立場のステイクホルダー間に、共通する理解がないと難しいと思っています。

どのような形で実現するかはわかりませんが、自分の活力を維持するためにも、新たな分野の方との出会いが必須との感覚もあり、何とか実現したいものです。

##### 2 地方状況確認、交通事故処理は最終段階へ

地方状況確認の市区町村の残りは150か所程度ですが、そのほとんどは、北海道の北部(右図)と九州・沖縄の離島が占めています。

まず、夏には、まとまった時間を作って、北海道を一周してみたいと考えています。また、奄美、五島、隠岐、対馬壱岐などの離島も、体と相談しながら、順次、行く予定です。



##### 3 仕事では未来を共有、家族とは現在を共有

昨年と同じく、中国古典「礼記」の「修身齐家治国平天下」という言葉通り、子供や家族と一緒に行動する時間は、昨年と同じように確保したいと思っています。

子供は間もなく独り立ちし、両親は間もなく人生を終えるのですが、その時間を一緒に過ごすことに意味があると思うからです。

こうした時間の一端を、引き続き、コラムで伝えられれば、良いかと思えます。

最後に、皆さんの一年が、有意義なものとなることを祈念します。